



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月30日

上場会社名 株式会社イチネンホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9619 URL <http://www.ichinenhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 井本 久子 TEL 06-6309-7890

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	21,094	4.6	1,494	8.4	1,523	8.8	965	12.4
2018年3月期第1四半期	20,172	5.7	1,377	42.0	1,400	43.3	858	51.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 699百万円 (△41.3%) 2018年3月期第1四半期 1,191百万円 (245.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	39.25	ー
2018年3月期第1四半期	34.91	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	121,676	30,393	25.0	1,235.56
2018年3月期	118,476	30,136	25.4	1,225.13

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 30,393百万円 2018年3月期 30,136百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	18.00	ー	18.00	36.00
2019年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2019年3月期(予想)	ー	18.00	ー	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,810	5.0	3,130	1.6	3,140	1.1	1,980	2.9	80.49
通期	86,000	5.7	6,100	3.1	6,100	2.5	3,860	0.3	156.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	24,612,227株	2018年3月期	24,612,227株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	13,640株	2018年3月期	13,622株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	24,598,587株	2018年3月期1Q	24,598,807株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に企業収益や雇用情勢の改善が続き、輸出や個人消費も持ち直し、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の今後の政策、通商問題の動向、海外経済の不確実性など先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、事業を通じて、全てのお客様に「いちねんで、いちばんの毎日を。」ご提供し、社会に貢献できる企業を目指しております。基盤事業である自動車リース関連事業を中心に、ケミカル事業、パーキング事業、機械工具販売事業、合成樹脂事業を展開しております。また、既存事業の強化を進めながら、事業領域の枠にとらわれない新規事業への参入、規模拡大を目的とした積極的なM&A、海外展開にも挑戦しております。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は210億94百万円(対前年同期比4.6%増)、営業利益は14億94百万円(対前年同期比8.4%増)、経常利益は15億23百万円(対前年同期比8.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億65百万円(対前年同期比12.4%増)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

#### <自動車リース関連事業>

リースにおきましては、リース契約車両は依然として小型化傾向にありますが、リース化の進んでいない地方市場及び中小小規模の企業を中心に新規販売を積極的に行い、また、既存顧客との取引深耕にも注力した結果、2018年6月末現在リース契約台数は80,917台(対前期末比38台減)となり、リース契約高は89億35百万円(対前年同期比0.5%増)、リース未経過契約残高は715億29百万円(対前期末比1.7%増)となりました。

自動車メンテナンス受託におきましては、当社グループ独自の自動車整備工場ネットワークによる高い点検実施率を強みとしながら、契約台数、契約残高の増加に努めた結果、メンテナンス受託契約台数は82,500台(対前期末比2,475台増)となり、メンテナンス受託契約高は16億36百万円(対前年同期比0.8%増)、メンテナンス未経過契約残高は81億21百万円(対前期末比3.2%増)となりました。

燃料販売におきましては、主に自動車用燃料給油カードにおいて、低燃費車の普及により需要が減少傾向にありますが、既存顧客へのサービス向上並びに新規顧客の獲得に注力いたしました。

損益面では、リースは契約車両の延台数及び車両処分台数が増加したこともあり堅調に推移いたしました。自動車メンテナンス受託は契約車両の延台数は減少しましたが契約高が増加しており堅調に推移いたしました。燃料販売は販売数量が堅調に推移いたしましたが、仕入価格が上昇し、小売市況悪化により販売価格への転嫁が進まず厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は123億61百万円(対前年同期比7.0%増)、セグメント利益は8億60百万円(対前年同期比1.8%増)となりました。

#### <ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、商品開発力の強化及び品質向上に取り組むとともに、付加価値の高い商品の販売に注力いたしました。

損益面では、工業薬品関連の燃料添加剤及び石炭添加剤の販売が順調に推移いたしました。

また、化学品関連では機械工具商向けケミカル製品が堅調に推移いたしましたが、個人向けケミカル製品の販売が減少いたしました。

この結果、売上高は26億47百万円(対前年同期比1.5%減)、セグメント利益は2億49百万円(対前年同期比25.1%減)となりました。

#### <パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大に努めた結果、2018年6月末現在駐車場管理件数は1,235件(対前期末比22件増)、管理台数は29,285台(対前期末比241台増)となりました。

損益面では、新規駐車場の開発が順調に進み、また、既存駐車場の継続的な収益改善活動の効果もあり収益が増加いたしました。

この結果、売上高は13億74百万円(対前年同期比4.8%増)、セグメント利益は2億円(対前年同期比49.2%増)となりました。

<機械工具販売事業>

機械工具販売事業におきましては、取扱アイテムの拡充、オリジナル製品の開発を促進するとともに商品調達コスト及び物流コストの軽減に努めてまいりました。

損益面では、空調工具及び計測工具の販売は堅調に推移いたしました。機械工具及び自動車整備工具の販売は減少いたしました。また、前連結会計年度に株式を取得した株式会社ゴンドー及び株式会社イチネンSHOKOが販売増加に寄与いたしました。

この結果、売上高は35億41百万円（対前年同期比9.9%増）、セグメント利益は1億35百万円（前年同期は29百万円のセグメント利益）となりました。

<合成樹脂事業>

合成樹脂事業におきましては、新規顧客の拡大及び新商品の開発を図るとともに品質改善に努めてまいりました。

損益面では、遊技機メーカーへの合成樹脂製品の販売が減少いたしました。半導体実装装置メーカー等へのセラミックヒーターの販売は増加いたしました。科学計測器の販売は減少いたしました。

また、のれん償却額などの販売費及び一般管理費が前年同期より減少いたしました。

この結果、売上高は12億10百万円（対前年同期比16.1%減）、セグメント利益は59百万円（対前年同期比74.6%増）となりました。

<その他>

その他におきましては、売上高は44百万円（対前年同期比50.8%増）、セグメント損失は15百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の状況>

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は437億31百万円となり、前連結会計年度末残高410億74百万円と比べて26億56百万円増加いたしました。これは「現金及び預金」の減少2億14百万円、「受取手形及び売掛金」の減少1億25百万円、「電子記録債権」の増加3億95百万円、機械工具販売事業の販売計画に基づく在庫確保による「商品及び製品」の増加4億34百万円、自動車税等の納付による「前払費用」の増加12億44百万円、燃料販売仕入に係る前渡金の増加等による「その他」の増加8億43百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は779億20百万円となり、前連結会計年度末残高773億71百万円と比べて5億48百万円増加いたしました。これはオペレーティング・リース取引の契約増加による「賃貸資産」の増加4億56百万円、自動車リース関連事業における車両販売に係るヤード用地取得による「土地」の増加4億35百万円、償却による有形固定資産「その他」の減少1億18百万円、時価評価等による「投資有価証券」の減少4億6百万円、「繰延税金資産」の増加1億37百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は24百万円となり、前連結会計年度末残高29百万円と比べて4百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第1四半期連結会計期間末残高1,216億76百万円となり、前連結会計年度末残高1,184億76百万円と比べて32億円増加いたしました。

<負債の状況>

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は452億27百万円となり、前連結会計年度末残高436億58百万円と比べて15億68百万円増加いたしました。これは「支払手形及び買掛金」の増加2億81百万円、「商業・ペーパー」の増加20億円、「1年内返済予定の長期借入金」の減少3億11百万円、「未払法人税等」の減少7億24百万円、「賞与引当金」の増加2億76百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は460億56百万円となり、前連結会計年度末残高446億80百万円と比べて13億75百万円増加いたしました。これは「長期借入金」の増加14億5百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第1四半期連結会計期間末残高912億83百万円となり、前連結会計年度末残高883億39百万円と比べて29億44百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は303億93百万円となり、前連結会計年度末残高301億36百万円と比べて2億56百万円増加いたしました。これは「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加9億65百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少4億42百万円、時価評価による「その他有価証券評価差額金」の減少2億85百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より2億14百万円減少し、11億67百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△19億59百万円（前年同期は△12億85百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が15億14百万円になったこと、オペレーティング・リース取引の契約増加により「賃貸資産の純増減額（△は増加）」△34億96百万円が「減価償却費」33億74百万円を上回ったこと、「たな卸資産の増減額（△は増加）」が△4億円になったこと、「法人税等の支払額」が△12億90百万円になったこと、自動車税等の納付による前払費用の増加等により「その他」が△15億65百万円になったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△9億97百万円（前年同期は△7億91百万円）となりました。これは主に、自動車リース関連事業における車両販売に係るヤード用地の取得及びパーキング事業における機器及び構築物の取得等による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△8億53百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、27億42百万円（前年同期は17億41百万円）となりました。これは主に、「借入れによる収入」51億円及び「商業・ペーパーの純増減額（△は減少）」20億円が「借入金の返済による支出」△39億6百万円及び「配当金の支払額」△4億42百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、現時点では、2018年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,382	1,168
受取手形及び売掛金	11,563	11,437
電子記録債権	1,169	1,564
リース・メンテナンス未収入金	2,310	2,297
リース投資資産	17,374	17,457
商品及び製品	3,177	3,612
仕掛品	196	197
原材料及び貯蔵品	445	454
前払費用	2,292	3,536
その他	1,165	2,009
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	41,074	43,731
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
<b>貸貸資産</b>		
減価償却累計額	△63,341	△63,643
貸貸資産(純額)	50,007	50,463
土地	5,967	6,402
その他	16,073	16,167
減価償却累計額	△8,338	△8,551
その他(純額)	7,735	7,616
有形固定資産合計	63,709	64,482
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,873	1,806
その他	2,703	2,803
無形固定資産合計	4,577	4,610
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,428	4,022
長期前払費用	1,731	1,755
繰延税金資産	1,121	1,259
その他	1,940	1,911
貸倒引当金	△137	△121
投資その他の資産合計	9,084	8,827
固定資産合計	77,371	77,920
繰延資産	29	24
資産合計	118,476	121,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,865	10,146
電子記録債務	1,265	1,251
短期借入金	4,200	4,300
コマーシャル・ペーパー	1,000	3,000
1年内償還予定の社債	5,342	5,342
1年内返済予定の長期借入金	17,433	17,121
リース債務	35	28
未払法人税等	1,141	417
リース・メンテナンス前受金	747	772
賞与引当金	482	758
品質保証引当金	7	7
その他	2,138	2,083
流動負債合計	43,658	45,227
固定負債		
社債	5,143	5,143
長期借入金	37,156	38,561
リース債務	16	15
退職給付に係る負債	1,488	1,472
役員退職慰労引当金	158	165
資産除去債務	372	379
その他	345	318
固定負債合計	44,680	46,056
負債合計	88,339	91,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,529	2,529
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	24,432	24,955
自己株式	△14	△14
株主資本合計	28,752	29,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,445	1,159
繰延ヘッジ損益	△9	8
退職給付に係る調整累計額	△51	△50
その他の包括利益累計額合計	1,383	1,117
純資産合計	30,136	30,393
負債純資産合計	118,476	121,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	20,172	21,094
売上原価	15,424	16,269
売上総利益	4,748	4,825
販売費及び一般管理費		
役員報酬	204	207
給料手当及び賞与	1,045	1,030
賞与引当金繰入額	264	255
退職給付費用	64	62
役員退職慰労引当金繰入額	8	7
貸倒引当金繰入額	△1	△5
品質保証引当金繰入額	4	1
のれん償却額	138	67
その他	1,641	1,704
販売費及び一般管理費合計	3,370	3,331
営業利益	1,377	1,494
営業外収益		
受取配当金	27	27
仕入割引	16	16
その他	15	11
営業外収益合計	59	55
営業外費用		
支払利息	22	12
支払手数料	6	5
その他	8	7
営業外費用合計	37	25
経常利益	1,400	1,523
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	8	9
特別損失合計	8	9
税金等調整前四半期純利益	1,394	1,514
法人税、住民税及び事業税	640	595
法人税等調整額	△104	△46
法人税等合計	535	548
四半期純利益	858	965
親会社株主に帰属する四半期純利益	858	965

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	858	965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	326	△285
繰延ヘッジ損益	2	18
退職給付に係る調整額	3	1
その他の包括利益合計	332	△266
四半期包括利益	1,191	699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,191	699

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,394	1,514
減価償却費	3,198	3,374
のれん償却額	138	67
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△6
受取利息及び受取配当金	△28	△27
支払利息	22	12
売上債権の増減額(△は増加)	153	△269
たな卸資産の増減額(△は増加)	△288	△400
リース投資資産の純増減額(△は増加)	△146	△150
貸貸資産の純増減額(△は増加)	△3,573	△3,496
仕入債務の増減額(△は減少)	△461	266
利息及び配当金の受取額	27	26
利息の支払額	△24	△14
法人税等の支払額	△908	△1,290
その他	△787	△1,565
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,285</b>	<b>△1,959</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△818	△853
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	0
固定資産の除却による支出	△1	△138
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	6	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	29	—
その他	△5	△1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△791</b>	<b>△997</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	100
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	1,500	2,000
長期借入れによる収入	4,800	5,000
長期借入金の返済による支出	△4,082	△3,906
リース債務の返済による支出	△1	△2
配当金の支払額	△467	△442
その他	△6	△5
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,741</b>	<b>2,742</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△336	△214
現金及び現金同等物の期首残高	1,535	1,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,199	1,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	自動車 リース 関連事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,526	2,641	1,310	3,223	1,441	20,142	29	20,172	—	20,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	46	0	0	0	72	0	72	△72	—
計	11,551	2,687	1,310	3,223	1,441	20,215	29	20,244	△72	20,172
セグメント利益又は損失(△)	845	333	134	29	33	1,376	△2	1,373	4	1,377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	自動車 リース 関連事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,328	2,601	1,374	3,537	1,208	21,049	44	21,094	—	21,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	45	0	4	1	84	0	84	△84	—
計	12,361	2,647	1,374	3,541	1,210	21,134	44	21,179	△84	21,094
セグメント利益又は損失(△)	860	249	200	135	59	1,505	△15	1,489	4	1,494

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。